

# 成人慢性好中球減少症に関する研究



筑波大学血液内科

Department of Hematology, University of Tsukuba

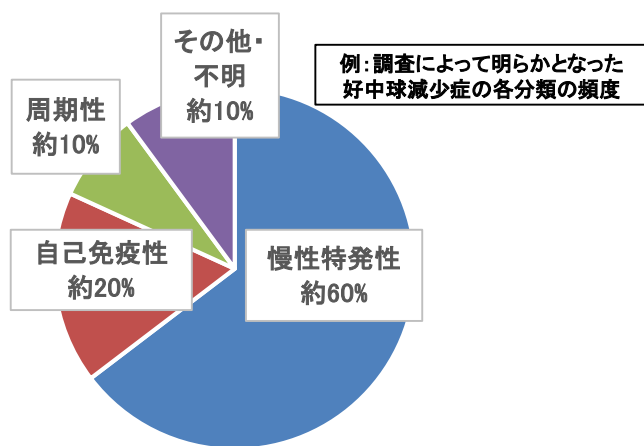
好中球は、侵入してきた外敵から身を守るはたらきをする細胞です。好中球が減少すると、重篤な感染症にかかりやすくなってしまいます。化学療法などの要因が明らかでなく、慢性的に好中球が減少する状態を慢性好中球減少症と呼びますが、特に成人の慢性好中球減少症は極めてまれで、その頻度、原因、対処法などはよく分かっていません。

## 筑波大学血液内科での取り組み

- 疫学研究  
…成人慢性好中球減少症の頻度を明らかにします
- 予後追跡調査  
…診断や治療の実態や予後を明らかにします
- 遺伝子解析研究  
…成人慢性好中球減少症の原因について、遺伝子異常の面から解明を試みます
- 抗好中球抗体検査  
…成人慢性好中球減少症の原因として知られる、抗好中球抗体を検出するための検査体制を構築します

## 予後追跡調査

- 全国の医療機関の協力を得て、臨床情報を収集



- 症例を長期間にわたって追跡調査し、治療成績や予後などを明らかにする

## 疫学調査研究

- 健診施設と連携し、健診データを活用
- 日本人における好中球数の分布の調査
- 好中球減少の頻度を算出  
(好中球数  $< 1,500 / \mu\text{L}$ )
- 好中球減少の危険因子の解析

## 遺伝子解析研究

- 次世代シーケンサーを用いた網羅的遺伝子解析
- 慢性好中球減少症の原因遺伝子異常の探索
- 原因遺伝子異常と治療や予後の関連を解析



これらの研究活動を通じて、成人慢性好中球減少症の「診療の参照ガイド」の作成・改訂に取り組んでいます